

令和4年度 病床機能報告の集計結果

病床機能報告・・・医療法第30条の13の規定に基づき、
病院又は診療所であって一般病床又は療養病床を有するものは
「毎年7月1日時点における病床機能」「2025年の病床機能の予定」
「入院患者に提供する医療の内容」等を報告

令和4年度 対象医療機関・・・75病院、47有床診療所（休院中や廃院・無床化予定の医療機関は対象外）

- 病床機能報告の結果については、医療法第30条の13第4項の規定によりホームページにも公表予定です。
（和歌山県ホームページ） <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/050100/byosyokinou.html>
（厚生労働省ホームページ） <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000055891.html>

和歌山県湯浅保健所
令和5年7月27日

病床機能報告における医療機能（令和4年度病床機能報告マニュアル①より）

2. 報告対象機関が病院の場合

2-1. 各病棟の病床が担う医療機能について

病床機能報告においては、**病棟ごと**に病床が担う医療機能をご報告いただきます。各医療機関のご判断で、下表の4つの中から**1つ**ご選択ください。

なお、看護人員配置別に設定されている入院基本料と病床機能報告上の医療機能との関係については、看護人員配置が手厚いほど医療密度の濃い医療を提供することが期待されて診療報酬が設定されておりますが、病床機能報告においては、看護人員配置が手厚い場合であっても、実際に提供されている医療機能を踏まえて報告するものです。

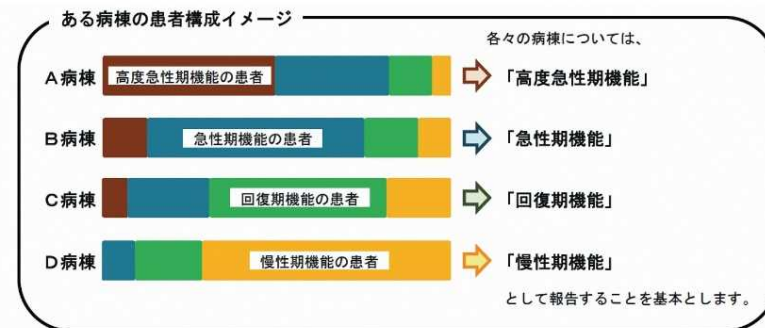
医療機能の名称	医療機能の内容
高度急性期機能	<ul style="list-style-type: none"> ○ 急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能 ※ 以下の入院基本料の算定病棟を含め、特定の入院基本料を算定していることをもって、ただちに高度急性期機能であることを示すものではない。医療資源投入量など実際に提供されている医療内容の観点から、高度急性期機能と判断されるものについて適切に報告すること。 <ul style="list-style-type: none"> ・一般病棟入院基本料（急性期一般入院料1～3） ・特定機能病院入院基本料（一般7対1入院基本料） ・専門病院入院基本料（一般7対1入院基本料） ※ 高度急性期機能に該当すると考えられる病棟の例 救命救急病棟、集中治療室、ハイケアユニット、新生児集中治療室、新生児治療回復室、小児集中治療室、総合周産期集中治療室など、急性期の患者に対して診療密度が特に高い医療を提供する病棟 ※ 算定する特定入院料の例 <ul style="list-style-type: none"> ・救命救急入院料（救命救急入院料1～4） ・特定集中治療室管理料（特定集中治療室管理料1～4） ・ハイケアユニット入院医療管理料（ハイケアユニット入院医療管理料1～2） ・脳卒中ケアユニット入院医療管理料 ・小児特定集中治療室管理料 ・新生児特定集中治療室管理料（新生児特定集中治療室管理料1～2） ・総合周産期特定集中治療室管理料（母体・胎児集中治療室管理料、新生児集中治療室管理料） ・新生児治療回復室入院医療管理料
急性期機能	<ul style="list-style-type: none"> ○ 急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能 ※ 以下の入院基本料の算定病棟を含め、特定の入院基本料を算定していることをもって、ただちに急性期機能であることを示すものではない。医療資源投入量など、実際に提供されている医療内容の観点から急性期機能と判断されるものについて適切に報告すること。 <ul style="list-style-type: none"> ・一般病棟入院基本料（急性期一般入院料1～6） ・特定機能病院入院基本料（一般7対1入院基本料、一般10対1入院基本料） ・専門病院入院基本料（一般7対1入院基本料、一般10対1入院基本料） ・一般病棟入院基本料（地域一般入院料1～2） ・専門病院入院基本料（一般13対1入院基本料） ※ 算定する特定入院料の例 <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケア病棟入院料（地域包括ケア病棟入院料1～4、地域包括ケア入院医療管理料1～4）

回復期機能	<ul style="list-style-type: none"> ○ 急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能 ○ 特に、急性期を経過した脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等の患者に対し、ADLの向上や在宅復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に提供する機能（回復期リハビリテーション機能） ※ 以下の入院基本料の算定病棟を含め、医療資源投入量など、実際に提供されている医療内容の観点から回復期機能と判断されるものについて適切に報告すること。 <ul style="list-style-type: none"> ・一般病棟入院基本料（急性期一般入院料4～6、地域一般入院料1～3） ・特定機能病院入院基本料（一般10対1入院基本料） ・専門病院入院基本料（一般10対1入院基本料、一般13対1入院基本料） ※ 算定する特定入院料の例 <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケア病棟入院料（地域包括ケア病棟入院料1～4、地域包括ケア入院医療管理料1～4） ・回復期リハビリテーション病棟入院料（回復期リハビリテーション病棟入院料1～6）
慢性期機能	<ul style="list-style-type: none"> ○ 長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能 ○ 長期にわたり療養が必要な重度の障害者（重度の意識障害者を含む）、筋ジストロフィー患者又は難病患者等を入院させる機能 ※ 以下の入院基本料の算定病棟を含め、医療資源投入量など、実際に提供されている医療内容の観点から慢性期機能と判断されるものについて適切に報告すること。 <ul style="list-style-type: none"> ・一般病棟入院基本料（地域一般入院料1～3） ・専門病院入院基本料（一般13対1入院基本料） ・療養病棟入院基本料（療養病棟入院料1～2） ・障害者施設等入院基本料（障害者施設等7対1入院基本料、障害者施設等10対1入院基本料、障害者施設等13対1入院基本料、障害者施設15対1入院基本料） ※ 算定する特定入院料の例 <ul style="list-style-type: none"> ・特殊疾患入院医療管理料 ・特殊疾患病棟入院料（特殊疾患病棟入院料1～2） ・地域包括ケア病棟入院料（地域包括ケア病棟入院料1～4、地域包括ケア入院医療管理料1～4）

2-3. 医療機能の選択における基本的な考え方

病床機能報告においては、病棟が担う医療機能をいずれか1つ選択して報告することとされていますが、実際の病棟には様々な病期の患者が入院していることから、下図のように当該病棟において**最も多くの割合を占める患者に相当する機能を報告することを基本とします**。

なお、病床機能報告は、医療機関のそれぞれの病棟が担っている医療機能を把握し、地域における医療機能の分化・連携を進めることを目的として行われるものであり、**病床機能報告においていずれの医療機能を選択されても、診療報酬上の入院料等の選択等に影響を与えるものではありません**。



3. 報告対象機関が有床診療所の場合

3-1. 有床診療所における医療機能について

有床診療所については、施設全体を **1 病棟** と考え、**施設単位** でご報告いただきます。医療機能については、下表の4つの中から1つをご選択ください。

※ 有床診療所には様々な患者が入院していることを踏まえてご回答ください。

医療機能の名称	医療機能の内容
高度急性期機能	○ 急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能
急性期機能	○ 急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能
回復期機能	○ 急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能 ○ 特に、急性期を経過した脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等の患者に対し、A D L の向上や在宅復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に提供する機能（回復期リハビリテーション機能）
慢性期機能	○ 長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能 ○ 長期にわたり療養が必要な重度の障害者（重度の意識障害者を含む）、筋ジストロフィー患者又は難病患者等を入院させる機能

有床診療所は、病床数が19床以下と小規模であり、また、地域の医療ニーズに対応して多様な役割を担っていることを踏まえ、以下のような機能の選択の例が考えられます。

（例）

- ・ 産科や整形外科等の単科で手術を実施している有床診療所 → 急性期機能
- ・ 在宅患者の急変時の受入れや急性期経過後の患者の受入れ等、幅広い病期の患者に医療を提供している有床診療所 → 急性期機能又は回復期機能のいずれか
- ・ 病床が全て療養病床の有床診療所 → 慢性期機能

3-2. 有床診療所の病床の役割として担っている機能について

有床診療所については、医療機能とは別に、有床診療所の病床の役割として担っている機能について、次の①～⑤よりご選択のうえ、ご報告いただきます（複数選択可）。

- ① 病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能
 - ② 専門医療を担って病院の役割を補完する機能
 - ③ 緊急時に対応する機能
 - ④ 在宅医療の拠点としての機能
 - ⑤ 終末期医療を担う機能

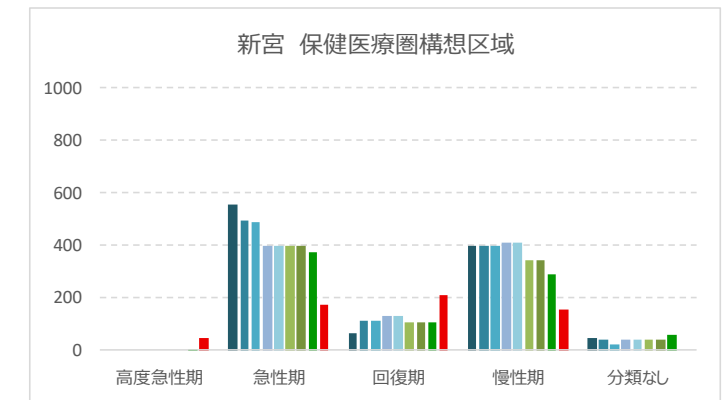
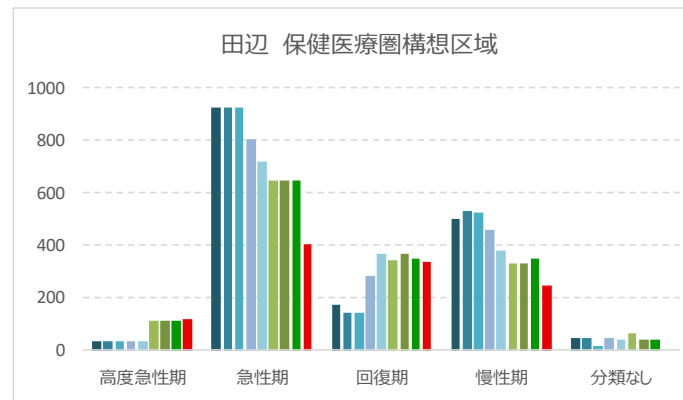
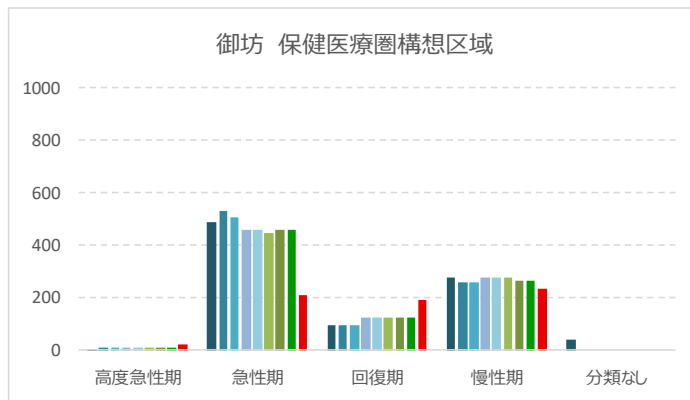
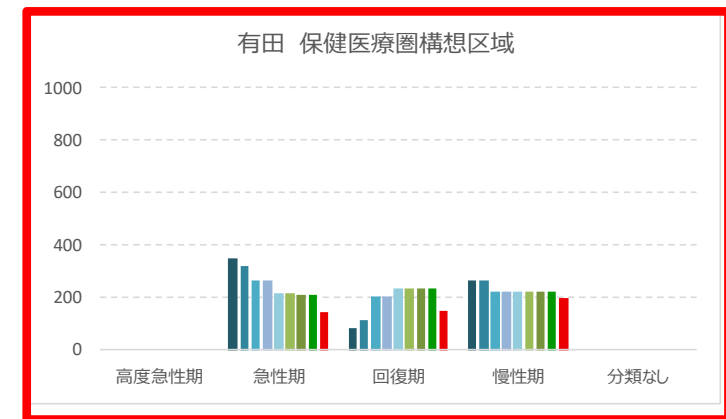
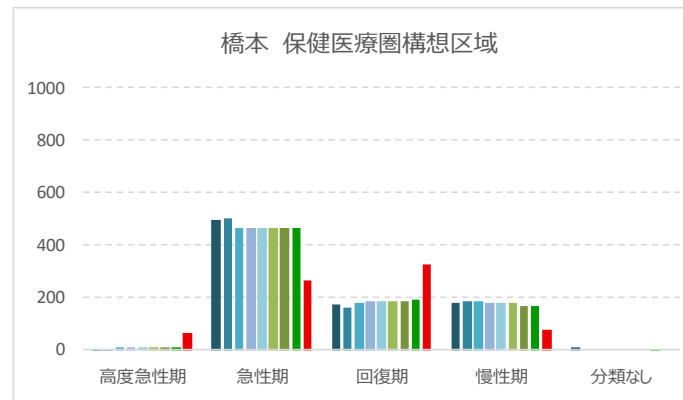
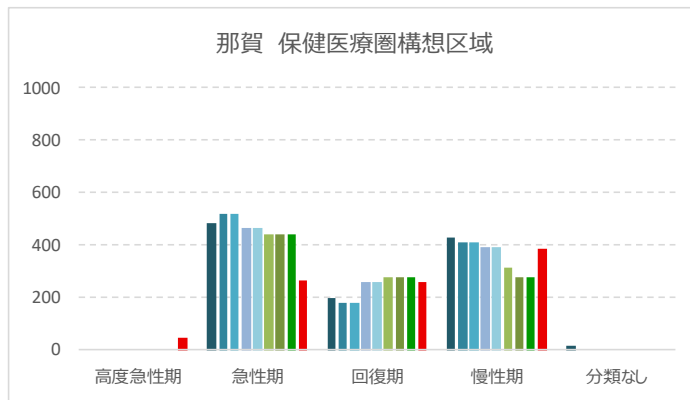
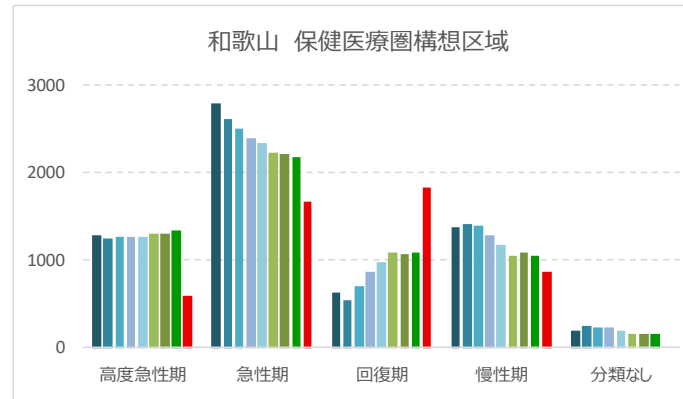
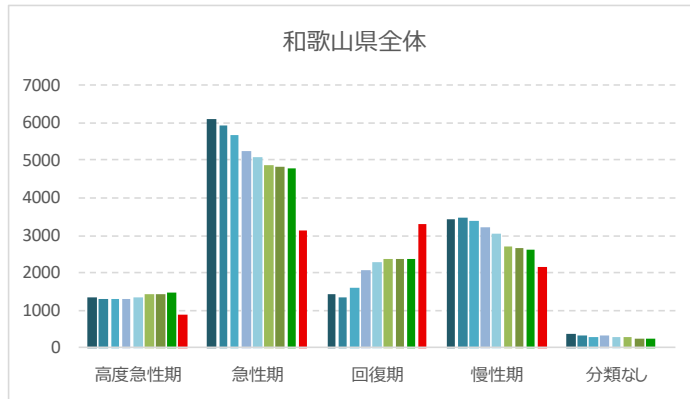
2022年の病床数 と 地域医療構想における2025年の必要病床数

(単位：床)

圏域名	医療機能	2022年 7月1日時点	(対前年)	病院	診療所	重心 (再掲)	2025年の 必要病床数 (地域医療構想)
和歌山	① 高度急性期	1,346	(44)	1,346			588
	② 急性期	2,185	(▲ 25)	2,007	178		1,674
	③ 回復期	1,083	(11)	1,031	52		1,836
	④ 慢性期	1,049	(▲ 33)	963	86	60	863
	⑤ 分類なし	152	(▲ 4)	101	51		
	小 計	5,815	(▲ 7)	5,448	367	60	4,961
那賀	① 高度急性期						48
	② 急性期	438		419	19		267
	③ 回復期	274		199	75		261
	④ 慢性期	274		274		136	385
	⑤ 分類なし						
	小 計	986		892	94	136	961
橋本	① 高度急性期	12		12			65
	② 急性期	466	(1)	448	18		267
	③ 回復期	193	(7)	193			327
	④ 慢性期	168	(2)	130	38		78
	⑤ 分類なし	2	(2)		2		
	小 計	841	(12)	783	58		737
有田	① 高度急性期						
	② 急性期	209		190	19		146
	③ 回復期	233		233			148
	④ 慢性期	223		204	19		201
	⑤ 分類なし						
	小 計	665		627	38		495

圏域名	医療機能	2022年 7月1日時点	(対前年)	病院	診療所	重心 (再掲)	2025年の 必要病床数 (地域医療構想)
御坊	① 高度急性期	8		8			20
	② 急性期	460		460			210
	③ 回復期	123		123			191
	④ 慢性期	267		249	18	163	234
	⑤ 分類なし						
	小 計	858		840	18	163	655
田辺	① 高度急性期	113		113			120
	② 急性期	646		634	12		404
	③ 回復期	347	(▲ 22)	328	19		340
	④ 慢性期	351	(22)	313	38	64	249
	⑤ 分類なし	38		30	8		
	小 計	1,495		1,418	77	64	1,113
新宮	① 高度急性期	5	(5)	5			44
	② 急性期	375	(▲ 24)	346	29		174
	③ 回復期	110		110			212
	④ 慢性期	289	(▲ 52)	289			154
	⑤ 分類なし	57	(17)	38	19		
	小 計	836	(▲ 54)	788	48		584
県計	① 高度急性期	1,484	(49)	1,484			885
	② 急性期	4,779	(▲ 48)	4,504	275		3,142
	③ 回復期	2,363	(▲ 4)	2,217	146		3,315
	④ 慢性期	2,621	(▲ 61)	2,422	199	423	2,164
	⑤ 分類なし	249	(15)	169	80		
	計	11,496	(▲ 49)	10,796	700	423	9,506

医療機能別病床数の推移 (棒グラフ)



医療機能ごとの病床数の推移（有田保健医療圏）

	2015年7月1日現在（A）						2023年7月1日現在（B）						増減（B）－（A）						
	計	高 度 急性期	急性期	回復期	慢性期	分類 なし	計	高 度 急性期	急性期	回復期	慢性期	分類 なし	計	高 度 急性期	急性期	回復期	慢性期	分類 なし	
有田市立病院	153		108	45			153		54	99			0		▲ 54	54			急性期から回復期へ54床転換 （H29.7.1）
桜ヶ丘病院	99				99		99				99		0						
済生会有田病院	184		104	40	40		184		104	80			0			40	▲ 40		慢性期から回復期へ40床転換 （H28.11.1）
有田南病院	71		26		45		71			26	45		0		▲ 26	26			急性期から回復期へ26床転換 （H30.11.1 【24床】） （R1.7.1 【2床】）
西岡病院	120		60		60		120		32	28	60		0		▲ 28	28			急性期から回復期へ28床転換 （H27.9.1）
土屋クリニック	19				19		19				19		0						
はしもとクリニック	19		19				19		19				0						
森下整形外科	19		19				0						▲ 19		▲ 19				無床化（R2.1.1）
おおち眼科	4		4				0						▲ 4		▲ 4				無床化（H29.3.15 【2床】） （H30.12.1 【2床】）
しまクリニック	10		10				0						▲ 10		▲ 10				無床化（R3.12.15）
総計（C）	698	0	350	85	263	0	665	0	209	233	223	0	▲ 33	0	▲ 141	148	▲ 40	0	
2025年における必要病床数（D）							495		146	148	201								
（C）－（D）							170		63	85	22								

医療機関別の病床数（有田保健医療圏）

（１）2021年 → 2022年

（病床機能報告より）

医療機関名称	2021年7月1日現在（Ａ）						2022年7月1日現在（Ｂ）						前年からの増減（Ｂ）－（Ａ）					
	計	高 度 急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし	計	高 度 急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし	計	高 度 急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし
有田保健医療圏	665	0	209	233	223	0	665	0	209	233	223	0	0	0	0	0	0	0
有田市立病院	153		54	99			153		54	99			0					
桜ヶ丘病院	99				99		99				99		0					
済生会有田病院	184		104	80			184		104	80			0					
有田南病院	71			26	45		71			26	45		0					
西岡病院	120		32	28	60		120		32	28	60		0					
土屋クリニック	19				19		19				19		0					
はしもとクリニック	19		19				19		19				0					

（２）2022年 → 2025年の予定

（病床機能報告より）

医療機関名称	2022年7月1日現在（Ｂ）						2025年の予定（Ｃ）								（Ｃ）－（Ｂ）
	計	高 度 急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし	計	高 度 急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし	廃止	介護 施設等	
有田保健医療圏	665	0	209	233	223	0	650	0	194	233	223	0	15	0	▲ 15
有田市立病院	153		54	99			153		54	99					0
桜ヶ丘病院	99				99		99				99				0
済生会有田病院	184		104	80			184		104	80					0
有田南病院	71			26	45		71			26	45				0
西岡病院	120		32	28	60		120		32	28	60				0
土屋クリニック	19				19		19				19				0
はしもとクリニック	19		19				4		4				15		▲ 15

医療機関別の病床数（２）

（単位：床）

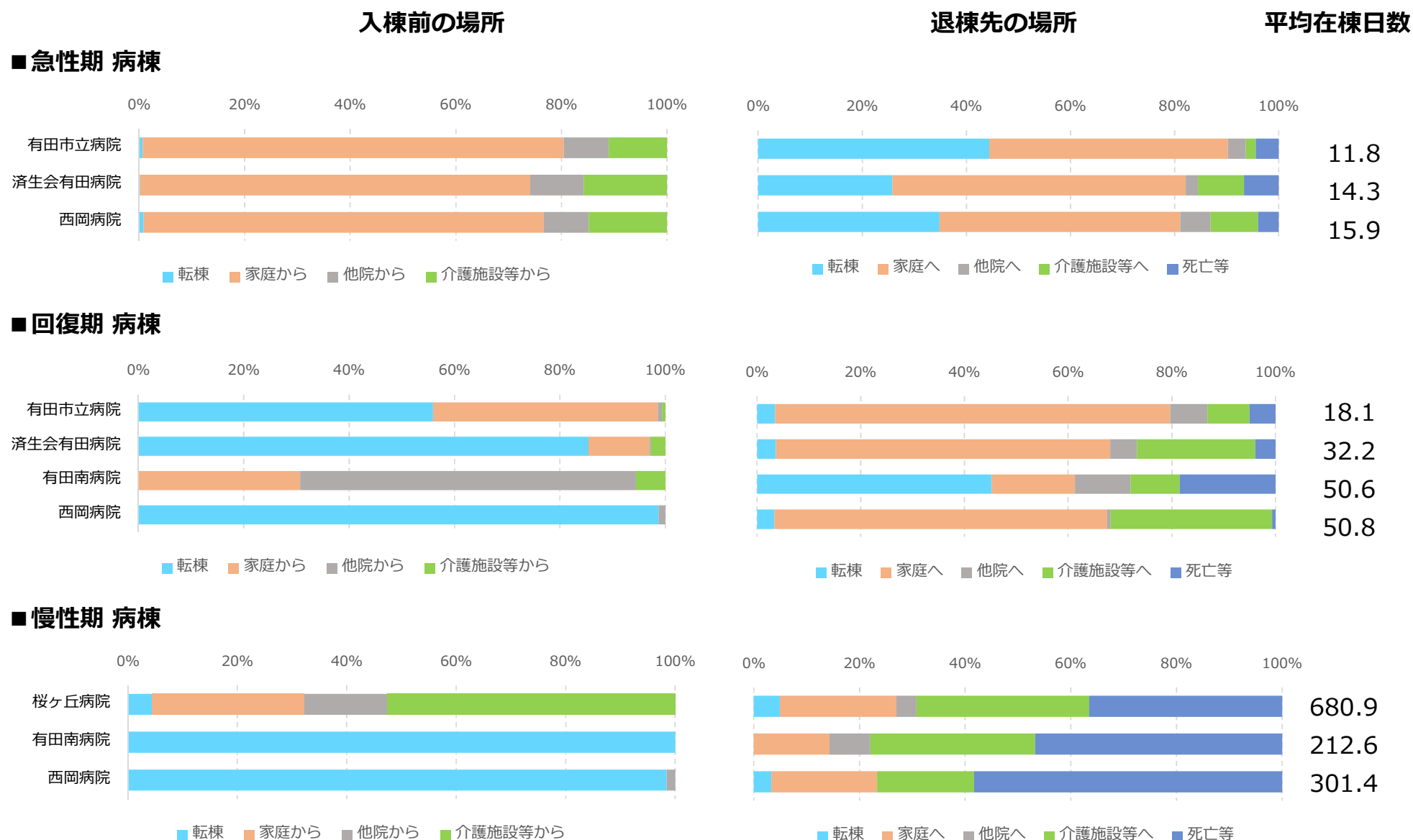
医療機関名	一般病床		療養病床		非稼働病床数（※１―※２）	入院基本料・特定入院料 及び 届出病床数（※１）							
	許可病床数（※１）	最大使用病床数（※２）	許可病床数（※１）	最大使用病床数（※２）		急性期一般入院料１～３	急性期一般入院料４～５	急性期一般入院料６～７	地域一般入院料	療養病棟入院料	特殊疾患病棟入院料	回復期リハビリテーション病棟入院料	地域包括ケア病棟入院料 入院料等の届出なし
有田保健医療圏	494	437	171	167	61	104	54	32	26	155	49	68	139
1 有田市立病院	153	116			37		54						99
2 桜ヶ丘病院	49	49	50	49	1					50	49		
3 済生会有田病院	184	179			5	104						40	40
4 有田南病院	26	26	45	45					26	45			
5 西岡病院	60	59	60	57	4			32		60		28	
6 土屋クリニック	3	3	16	16									
7 はしもとクリニック	19	5			14								

（※１）２０２２年７月１日現在

（※２）２０２１年４月～２０２２年３月における「最も多く患者を収容した時点で使用した病床数」（病棟単位で算出したものを合計）

（注）入院基本料・特定入院料の届出病床数は病床機能報告により各医療機関から報告された数であり、厚生局が公表している施設基準の届出受理状況と一致しないものもある。

入棟前の場所・退棟先の場所、平均在棟日数（病院のみ）



<参考> 和歌山県における定量的基準②（急性期の病床機能（回復期との境界））

2021年(令和3年)救急搬送件数ベース

(単位：件)

二次医療圏	病院名	初診医評価							
		死亡	重篤	重症	中等症	中等症	軽症	その他	総計
						以上			
1 和歌山	日本赤十字社和歌山医療センター	155	1	437	2,924	3,517	3,381	1	6,899
2 和歌山	県立医科大学附属病院	132		765	2,356	3,253	2,272		5,525
3 田辺	国立病院機構南和歌山医療センター	82		328	1,207	1,617	1,325	1	2,943
4 和歌山	労働者健康安全機構和歌山労災病院	44		107	844	995	1,747	1	2,743
5 和歌山	済生会和歌山病院	1		46	690	737	1,633		2,370
6 田辺	紀南病院	44		217	588	849	1,130		1,979
7 橋本	橋本市民病院	65		323	724	1,112	850		1,962
8 那賀	公立那賀病院	79		166	678	923	846		1,769
9 新宮	新宮市立医療センター	46		248	631	925	765		1,690
10 御坊	ひだか病院	24		182	430	636	734		1,370
11 和歌山	堀口記念病院			8	239	247	927		1,174
12 新宮	くしもと町立病院	33		180	342	555	418		973
13 田辺	白浜はまゆう病院	20		57	258	335	609		944
14 御坊	北出病院	38		102	358	498	398		896
15 橋本	紀和病院	30		113	345	488	404		892
16 和歌山	和歌山生協病院	6		12	253	271	495		766
17 和歌山	海南医療センター	8		76	330	414	302		716
18 有田	済生会有田病院	37		104	253	394	232		626
19 有田	有田市立病院	26		58	191	275	248		523
20 新宮	那智勝浦町立温泉病院	16		55	170	241	278		519
21 那賀	貴志川リハビリテーション病院			72	190	262	247		509
22 和歌山	誠佑記念病院	6		41	214	261	182		443
23 和歌山	恵友病院	4		8	148	160	258		418
24 和歌山	中江病院	2		9	102	113	267		380
25 和歌山	国保野上厚生総合病院	25		76	131	232	147		379
26 和歌山	和歌浦中央病院			3	101	104	259	1	364
27 田辺	田辺中央病院			21	88	109	236		345
28 和歌山	橋本病院	1		3	81	85	238		323
29 和歌山	須佐病院			6	101	107	169		276
32 那賀	稲穂会病院	3		11	159	173	95		268
33 那賀	名手病院	9		37	107	153	94		247
34 御坊	整形外科北裏病院	1		82	55	138	74		212
35 有田	西岡病院	2		29	82	113	97	1	211
37 御坊	国立病院機構和歌山病院	17		30	101	148	33		181
30 和歌山	向陽病院	2		3	48	53	182		235
36 橋本	山本病院	8		11	78	97	92		189
31 田辺	国保すさみ病院	12		8	48	68	113		181
38 和歌山	古梅記念病院	2		6	46	54	86		140
39 和歌山	石本病院	6		3	83	92	47		139
40 和歌山	中谷病院	4		5	43	52	83		135

二次医療圏	病院名	初診医評価							
		死亡	重篤	重症	中等症	中等症	軽症	その他	総計
						以上			
41 那賀	富田病院			12	37	49	40		89
42 那賀	殿田胃腸肛門病院			5	45	50	36		86
43 橋本	県立医科大学附属病院紀北分院	2		5	26	33	52		85
44 有田	県立こころの医療センター			6	18	24	41		65
45 和歌山	高山病院				16	16	34		50
46 和歌山	伏虎リハビリテーション病院	2		1	25	28	19		47
47 有田	桜ヶ丘病院	6		7	12	25	15		40
48 和歌山	今村病院				5	5	33		38
49 和歌山	嶋病院	1		3	25	29	8		37
50 和歌山	上山病院			5	7	12	24		36
51 和歌山	河西田村病院			2	16	18	15		33
52 和歌山	児玉病院			1	17	18	12		30
53 和歌山	宇都宮病院			1	11	12	17		29
54 田辺	紀南こころの医療センター			1	2	3	25		28
55 和歌山	福外科病院				10	10	15		25
56 和歌山	角谷整形外科病院		1	8	8	9	9		18
57 和歌山	西和歌山病院				8	8	9		17
58 和歌山	宮本病院		1	4	4	5	8		13
59 和歌山	稲田病院		1	4	4	5	6		11
60 和歌山	藤民病院				9	9	1		10
61 和歌山	和歌浦病院				3	3	5		8
62 和歌山	田村病院				1	1	7		8
63 那賀	紀の川病院			1	2	3	5		8
64 有田	有田南病院				3	3	4		7
65 和歌山	琴の浦リハビリテーションセンター附属病院			1	4	5	1		6
66 和歌山	谷口病院				4	4	1		5
67 橋本	紀の郷病院		3		1	4			4
68 田辺	玉置病院				3	3			3
69 新宮	日進会病院				3	3			3
70 新宮	串本有田病院					0	2		2
71 和歌山	笠松病院					0	1		1
72 新宮	潮岬病院		1			1			1

【出典】2021年 救急統計

和歌山県における定量的な基準②

救急搬送 中等症以上 ≥ 100件／年・・・【1】
 または 救急搬送 総計 ≥ 300件／年・・・【2】

【1】 【2】 いずれも満たさない病院は「急性期」と報告しない